

## 愛育病院の周産期（セミ）オープンシステムとは

愛育病院と登録施設が連携し、妊婦健診は近くの登録施設で、お産は愛育病院で行うシステムです。登録施設の医師が愛育病院に出向いてお産も担当するオープンシステムと、愛育病院の医師がお産を担当するセミオープンシステムがあります。

妊産婦さんの利便性を保ち、かつ愛育病院・登録施設それぞれの特性を活かして役割分担することで周産期医療を有効に機能させることができます。

愛育病院と登録施設は定期的に会合をもち、また適宜連絡を取ることで妊婦健診の内容を統一し、愛育病院・登録施設どちらで妊婦健診を受けてもよいようになっています。



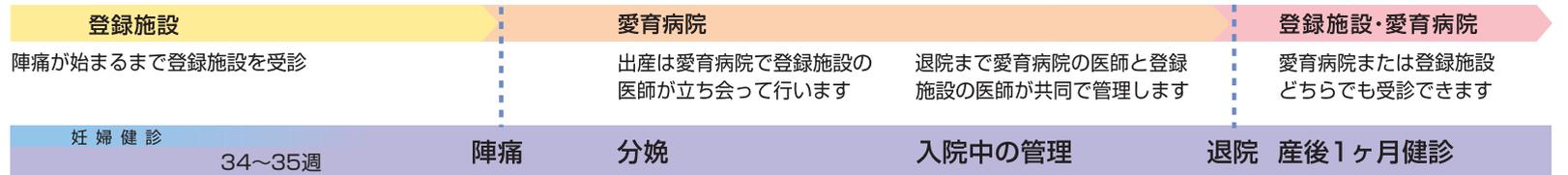
## （セミ）オープンシステムの特徴

- 妊婦健診を自宅や職場に近い登録施設で受けることができます。
- 愛育病院は総合周産期母子医療センターに指定されており、ハイリスク妊娠・分娩、早産、緊急手術、出生後の新生児管理、新生児外科手術などに対応できます。
- 妊娠中・産後に必要時は愛育病院に受診できます（夜間・休日の受診は緊急時に限ります）。
- 里帰りで他院でお産予定の方もこのシステムに登録すると、妊娠中に必要時は愛育病院に受診できます（愛育病院の分娩予約は取られません）。
- 愛育病院で行っている栄養相談、4D超音波、乳腺相談外来、マタニティビクス、マタニティヨガなどを受診、受講できます。

## 愛育病院の周産期（セミ）オープンシステムの経過

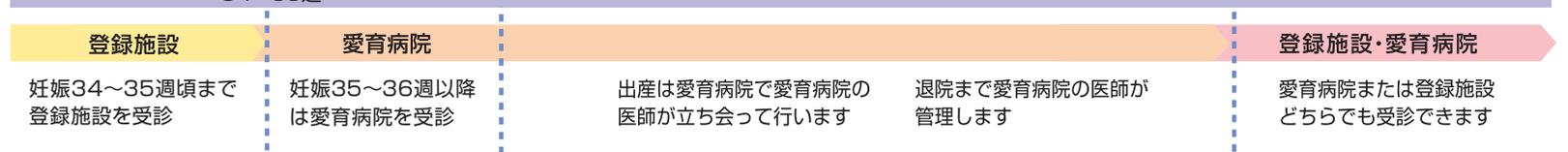
### オープンシステム

妊婦健診は登録施設で受診、分娩の際は愛育病院に入院し、登録施設の医師がお産に立ち会います。



### セミオープンシステム

妊婦健診は妊娠34~35週までは登録施設で、以後は愛育病院で受診します。分娩の際は愛育病院に入院し、愛育病院の医師がお産に立ち会います。



- 登録施設から紹介状をもらって、愛育病院で分娩登録をしてください。分娩登録の時期・方法、診察の予約については、登録施設へお問い合わせください。
- 愛育病院に妊娠初期から通院していた方が、妊婦健診を自宅や職場に近い登録施設で受診できるよう、愛育病院から紹介することもできます。
- 愛育病院の母親学級、夫立ち会いのための出産準備クラスなどをご希望の方は受講いただけます。
- 妊娠中の胎児超音波検査を愛育病院で受診できます（要予約）。

- 夜間・休日に緊急受診を希望される場合は、まず愛育病院に電話し相談してください。受診することになった際は母子手帳、妊娠経過表、検査データを持参してください。
- 妊娠中に切迫早産や破水、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、胎児発育不全などの問題が発生した場合は、登録施設医師と相談の上、愛育病院での診療に移行し、必要があれば入院加療を行います。

